

IOT(Internet Of Things)の普及には情報処理システム, 医療機器, エネルギー・マネジメントなど, 様々な分野において集積回路の進展が必要です。アナログ回路とその集積技術はこれらの分野で多大な貢献をしてきましたが, 次世代の様々なアプリケーションには, 更に高度な機能と性能を, 低消費電力かつ低コストで実現することが求められています。

本小特集(平成27年6月号)では, 純粋なアナログ回路技術のみならず, アナログデジタル混載回路, ミックストシグナル SoC への応用, 製造, テスト視点からのアナログ回路など, アナログ回路を取り巻く新しい諸問題について広い問題提起・議論をし, この分野における研究・開発を更に, 活発に進展させて頂きたいと考えました。多くの皆様の積極的な御投稿をお願い致します。(必須ではありませんが) チップ実現・測定結果を含んだ論文を歓迎します。

1. 対象分野

主な分野は以下の通りですが, これらに限定するものではありません。

- ・ワイヤレス回路技術, ワイヤライン回路技術
- ・高周波回路技術
- ・光通信用回路技術
- ・高速・高精度 ADC・DAC 技術
- ・アンプ, 発振器, PLL, 基準電圧源, パワー・マネジメント回路
- ・SoC 向け混載技術
- ・アナログ回路向け実装技術(パッケージング, SiP, モジュール, EMC 対策, 電源/デジタルノイズ対策, など)
- ・ミックストシグナル応用領域(RFID, ストレージ, チューナ, 車載, 医療/ヘルスケア, センサ・MEMS インタフェース, など)
- ・高性能化のためのアナログ要素技術一般(高周波 ESD 保護回路, 電源回路, など)
- ・アナログ回路向けデバイス技術(CMOS, BiCMOS, 化合物, MEMS, など)
- ・半導体デバイス・モデリング技術, デバイス/回路シミュレーション技術
- ・アナログ向け DFM・テストビリティ

2. 論文の執筆と取扱い

本小特集ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。原則として刷り上がりペーパー 8 ページ, ブリーフペーパー 3 ページ以内とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますので, あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため, 本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-CT] Analog Circuits and Related SoC Integration Technologies を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

4. 論文投稿締切日 平成 26 年 10 月 1 日(水) 必着

5. 問合せ先

古田雅則 株式会社東芝研究開発センターワイヤレスシステムラボラトリ
〒212-8582 神奈川県川崎市幸区小向東芝町 1
TEL [044] 549-2280, FAX [044] 520-1806, E-mail: masanori.furuta@toshiba.co.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 三木隆博(ルネサスエレクトロニクス)
幹事 出口和亮(ルネサスエレクトロニクス), 古田雅則(東芝),
委員 秋田一平(豊橋技科大), 伊藤正雄(ルネサスエレクトロニクス), 上野憲一(アナログデバイセズ), 岡田健一(東工大), 尾野孝一(ソニー), 香川景一郎(静岡大), 佐藤隆英(山梨大), 傘 昊(東京都市大), 島 健(神奈川大), 杉本泰博(中大), 谷本洋(北見工大), 東原恒夫(会津大), 築澤貴行(パナソニック), 中村宝宏(日立), 新津葵一(名大), 兵庫明(東京理科大), 廣瀬哲也(神戸大), 榎井昇一(富士通), 美濃谷直志(NTT), 武藤浩二(長崎大), 吉村隆治(テキサス・インスツルメンツ)

7. 重要なお知らせ

Webによる電子投稿の際, “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” に承諾して頂きます。

投稿に際しては, 著者のうち少なくとも一名は本会会員でなければなりません。

ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については, 投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。